



地域のまきこ

まちのほつとフォト

◎は、市民リポーターが取材・撮影しました
(21人が登録しています)

みしまの元気になるし

みしま産業まつりといえば「三島まるごと元鍋」。地元野菜がたっぷり入った熱々の一杯とお母さんたちの活気に、心も体もポッカポカ。(11月3日)



はっっこはだめよ

おぐにコミュニティセンターで開催したおぐに秋まつり。豆つかみに挑戦した子どもは、豆の真ん中を上手にとらえる、見事な箸さばきを披露しました。(11月3日) ◎箕輪務さん



2台ピアノの“響演”

プロ奏者2人による名曲コンサートが地域交流館わしまで行われました。2台のピアノが奏でる豊かな響きが、観客を魅了しました。(11月6日) ◎外川正明さん



やっぱ、こころん

越路地域の交流施設「こころん」の1周年祭。中華やカレーなどの料理を囲んでお祝いし、「やっぱこころんだよー！」(11月3日) ◎品川和之さん

じゃんけんにしんけん!

「最初はグー!」の掛け声が響いた山古志産業まつりの新米じゃんけん大会。勝てば地元産の新米が2倍もらえる戦いに、参加者は真剣に挑みました。(11月3日) ◎市村洋一さん



今月の表紙

下川西小学校の2年生が、地域の農家さんと協力して育てた里芋を収穫しました。子どもたちの背よりも高い葉っぱは、まるで傘のよう。1株から40個ほどの里芋が取れると、「家族みんなでいっぱい食べられるね!」と大はしゃぎでした。(11月15日)



手に汗握る、“おにぎり”の行方

与板地域町内対抗スポーツ大会の参加者が、おにぎり型のボールを使ったバレーボールに悪戦苦闘。予測不能な動きを見せるボールに何とか食らいつこうと、ハッスルプレーで盛り上がりました。(11月13日) ◎井口庸一さん



幻想的な光のアート

寺泊つわぶき祭で行われた「神あかりのタペ」。約150個の曲輪を照らす優しい光と柔らかな陰影が、秋の夜を彩りました。(10月29日)



悠久の魅力、みんなの手で

悠久山公園で市民ボランティアなど150人が、桜の木に与える堆肥作りを行いました。一生懸命落ち葉を拾う子どもたち。来年もきれいな桜が咲きますように。(11月12日) ◎酒井弘剛さん



なりきり度、トップを競う

アニメなどでおなじみのキャラクターに扮する大衣装コンテストで、川口秋まつりは大盛り上がり。ランウェイを歩くたたくまいや雰囲気も、本物そっくり!? (10月30日)



私の器をつくろう

栃尾美術館の陶芸講座に8人が参加しました。自分好みの器を目指して、細部にこだわり何度も手直しをしていました。(11月6日) ◎野尻明張さん



笑顔の真ん中に“なかのん”

中之島支所の周辺に、地域のゆるキャラ・なかのんやアーチ状のイルミネーションが登場。12月24日まで地域を明るく照らします。点灯式に集まった人たちで「はい、チーズ」。(11月13日)